

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	51		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	00766 市展・文化祭・写真展等事業	所 属 長	藤原 順二
		記 入 者	宿谷 真穂

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	市展・文化祭・写真展等事業費	
事業の概要	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表・鑑賞し相互に交流を深め、市民文化の向上を図るため、美術展覧会及び写真展覧会を開催している。また、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するため
対象 (何又は誰を)	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者 文化祭：学区文化協会及び芸術文化団体を対象に
手段 (どのようなやり方で)	市展・写真展：公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	より多くの市民に文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		6,588	6,585	2,109	6,829	6,829	
人件費 B		6,956	6,998	4,794	7,561	7,561	
事業費合計 A+B		13,544	13,583	6,903	14,390	14,390	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	6,588	0	0	0	0	地域振興基金
	一般財源	6,956	13,583	6,903	14,390	14,390	
職員数 (人)		1.46	1.46	0.96	1.36	1.36	
職員数の内訳	正規	0.66	0.66	0.36	0.66	0.66	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.80	0.80	0.60	0.70	0.70	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	募集要項・ポスター配布数	枚	目標	14,700	12,850	7,400	11,700	11,700
				実績	14,700	11,700	7,400	-	-
活動指標	2	補助金交付団体数	団体	目標	56	56	15	40	56
				実績	47	47	19	-	-
		文化祭開催に対する補助金交付団体数(文化祭実行委員会、芸術団体、地域文化団体)							
成果指標	1	出品数	点	目標	4,500	4,500	3,800	4,500	4,500
				実績	5,114	4,250	4,949	-	-
		市展・写真展・文化祭(短歌・俳句大会、湖都の文学)への出品数							
成果指標	2	入場者数	人	目標	5,000	5,000	2,000	14,000	38,000
				実績	3,086	3,194	3,832	-	-
		市展・写真展・文化祭への入場者数(令和2年度以降は学区・芸術団体の文化祭を含む)							

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	52				
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤原 順二
事務事業名	00767	花登筐文芸奨励事業	記 入 者	宿谷 真穂	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称		根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり			
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流			
重事	01	市民による文化・芸術の振興				
関連事業	コード	事務事業名称			コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期	
	一般会計	管理	評価対象事業	花登筐文芸奨励事業費		
事業の概要	本市出身の劇作家「花登筐」氏の業績を顕彰し、青少年の文芸活動を奨励するため、文芸作品を募集し、優秀作品を表彰すると共に優秀作品集を発刊する。(昭和61年から実施) 平成25年度より文芸奨励基金の原資を取り崩して事業を実施している。					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	青少年の文芸活動を奨励するため
対象 (何又は誰を)	市内に在住又は在学している小学生(4~6年生)、中学生、高校生を対象に
手段 (どのようなやり方で)	広報おおつへの掲載や各学校の夏季休暇の課題等協力依頼により、作文、随筆、演劇シナリオ、小説の別に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、優秀作品集を発刊することにより
成果 (どのような状態にするのか)	青少年の文芸に対する親しみを深め、創作意欲を高めて文化振興への若い息吹きを育てていく。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	255	247	216	277	0	
人件費	B	636	636	819	1,229	0	
事業費合計 A+B		891	883	1,035	1,506	0	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	255	247	216	187	0	
	一般財源	636	636	819	1,319	0	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.25	0.00	
職員数の内訳	正規	0.04	0.04	0.04	0.09	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.16	0.16	0.16	0.16	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	作品募集依頼学校数	校	目標	71	71	71	71	0
				実績	71	71	71	-	-
活動指標	2	作品募集対象児童・生徒数	人	目標	30,000	30,000	30,000	29,500	0
				実績	30,125	30,257	29,639	-	-
成果指標	1	作品応募数	点	目標	350	350	350	350	0
		応募のあった作品数		実績	291	196	488	-	-
	2	作品応募率	%	目標	1.1	1.1	1.1	1.1	0
		実績		1	0.6	1.7	-	-	
		応募作品数/市内の小(4~6年)・中・高の児童生徒数×100							

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	53	
部 局 名	市民部	所 属 名 文化・青少年課
事務事業名	00772 スカイプラザ浜大津管理運営事業	所 属 長 藤原 順二
		記 入 者 宿谷 真穂

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市スカイプラザ浜大津条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	第2次天津市文化振興ビジョン、第2次天津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	スカイプラザ浜大津管理運営事業費	

事業の概要	音楽・演劇その他市民の文化芸術活動の練習、発表の場となる拠点施設として、市民にとって利用しやすい施設の管理運営を行う。
-------	---

運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	音楽や演劇を通して行われる市民の文化芸術活動の振興を図り、市民に親しみやすい文化活動の拠点となるため
対象 (何又は誰を)	利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	幅広い分野の展示・発表・鑑賞の場となる事業を実施するとともに、気軽に参加できる学びの場を提供することで市民の文化芸術活動の拠点としての機能を充実させ、市民の多彩な文化活動を支援する。
成果 (どのような状態にするのか)	利用者が増加し、市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		29,378	27,223	18,393	91,778	91,640	平成19年度指定管理者制度開始
人件費 B		902	913	1,312	3,034	3,034	
事業費合計 A+B		30,280	28,136	19,705	94,812	94,674	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	30,280	28,136	19,705	94,812	94,674	
職員数(人)		0.11	0.11	0.16	0.37	0.37	
職員数の内訳	正規	0.11	0.11	0.16	0.37	0.37	令和3年度より事業統合
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	利用日数	日	目標	302	302	261	8,000	9,500
				実績	307	310	268	-	-
利用日数 / 令和3年度からは事業統合のため、利用件数3施設合計数とする									
2	自主事業開催数	回	目標	22	22	18	100,000	150,000	
			実績	17	19	7	-	-	
自主事業開催数(共催も含む) / 令和3年度からは事業統合のため、指定管理3施設利用者数とする。									
1	スタジオ等利用件数	件	目標	7,200	7,200	6,300	50	60	
			実績	7,141	7,516	6,160	-	-	
スタジオ等利用件数 / 令和3年度からは事業統合のため、施設利用率3施設合計とする。									
2	自主事業参加者数	人	目標	5,000	5,000	2,000	1.2	1.5	
			実績	2,692	1,811	244	-	-	
事業参加者数 / 令和3年度からは事業統合のため、来場者数前年度比3施設の合計数とする。									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	音楽、演劇など市民の文化芸術活動の拠点施設として気軽に利用できるため、年々、ニーズは高まっている。新しい生活様式の下、文化・芸術に親しめる環境の提供が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	可能な限り利用者の要望に対応できるよう工夫することや、回遊型コラボレーション事業、びわ湖大津秋の音楽祭への参画を指定管理者に求めた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	文化・芸術活動・鑑賞の環境づくりのために、指定管理者によるノウハウを活かした運営は妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症の影響で事業に制約を受けているが、利用件数の減少は少なく、広く利用されている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者の民間ノウハウを活用し、利用者への利便性を図るとともに経費の縮減に努めている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	多様な文化活動の場、人と人との交流の場として、文化振興に寄与するとともに、近隣商店街との連携事業は中心市街地の活性化にも繋がっており、文化・芸術に親しめる環境づくりに貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>今後も、自主事業の充実、利用者の増加や市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となるよう指定管理者と協議するとともに、新しい生活様式の下でも、市民の文化活動を支援できるよう、状況に応じた対応を行っていく。</p> <p>指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な運営により、多くの市民が気軽に親しめる文化活動の拠点となっている。引き続き、他の文化施設との連携を図るなど、魅力ある事業を検討、実施し、市民の文化交流が促進されるよう努められたい。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
目標達成率	指標1	99.18 %	104.38 %	97.77 %
	指標2	53.84 %	36.22 %	12.20 %
成果増減率	指標1	- %	+5.25 %	-18.04 %
	指標2	- %	-32.72 %	-86.52 %
活動単位コスト	指標1	98 千円	90 千円	73 千円
	指標2	1,781 千円	1,480 千円	2,815 千円
成果単位コスト	指標1	4 千円	3 千円	3 千円
	指標2	11 千円	15 千円	80 千円
コスト増減率	- %	-6.72 %	+28.89 %	

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	54		
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課
事務事業名	00776 大津市民会館管理事業	所 属 長	藤原 順二
		記 入 者	宿谷 真穂

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市民会館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
				関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	市民会館管理運営事業費	

事業の概要
 指定管理者のノウハウを活用した適正な運営に努めるとともに、市民主体の文化芸術活動を促進し、文化芸術に触れる場と機会の提供を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民の文化・教養の向上と福祉の増進を図るため
対象 (何又は誰を)	市内外を問わない施設利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	効果的、効率的な自主事業の展開および、会館内の施設・設備の適切な管理運営を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	多くの市民や文化・芸術団体の利用促進を図るとともに、芸術性の高い発表・鑑賞の場を提供し、文化情報発信及び文化交流の拠点となる。

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		58,561	59,340	61,298	0	0	平成20年指定管理者制度開始
人件費 B		1,230	1,245	2,050	0	0	
事業費合計 A+B		59,791	60,585	63,348	0	0	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	59,791	60,585	63,348	0	0	
職員数(人)		0.15	0.15	0.25	0.00	0.00	
職員数の内訳	正規	0.15	0.15	0.25	0.00	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	利用件数	件	目標	300	300	250	0	0
				実績	291	327	183	-	-
	大・小ホールの利用件数 (令和3年度からは事業統合のため記載なし)								
2	来場者数		人	目標	117,000	117,000	102,000	0	0
				実績	93,404	109,415	28,068	-	-
	大・小ホールの催しに来場した人数 (令和3年度からは事業統合のため記載なし)								
成果指標	1	会館利用率	%	目標	48	48	48	0	0
				実績	61.3	67.7	49.6	-	-
	大ホール利用件数÷大ホール貸館可能日数(点検、改修工事時は除く)×100								
2	来場者前年比		%	目標	100	100	93.2	0	0
				実績	74.9	117.1	25.7	-	-
今年度来場者数÷前年度来場者×100									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の価値観が多様化する中、市民による主体的な文化芸術活動の発表の場や、ニーズに応じた文化芸術が鑑賞できる環境が求められている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成20年度から指定管理者制度を導入した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	文化・芸術活動、鑑賞の環境づくりのために、指定管理者のノウハウを活かした運営は妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症の影響で利用は減少しているものの、近隣施設との役割のすみ分けを意識し幅広いジャンル・年齢層を対象とした事業を実施している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者の民間ノウハウを活用し利用者の利便性を図るとともに、経費の縮減に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の幅広いジャンルの文化芸術を発表・鑑賞できる場を提供しており、本市の文化振興の拠点として、文化・芸術に親しめる環境づくりに貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民や文化・芸術団体の利用促進を図るとともに、芸術性の高い発表・鑑賞の場を提供し、文化情報発信及び文化交流の拠点となるよう指定管理者のノウハウを活かした運営を行う。また、なぎさ公園周辺の魅力向上に向けた、市民会館に求められる機能について整理を行っていく。
部局長コメント	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な施設運営を図るとともに、文化芸術の拠点施設として、市民の文化・教養の向上のため、魅力ある事業の展開に努めること。また、なぎさ公園周辺の魅力向上に向け、施設に求められる機能について整理を行うこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1 127.70 %	141.04 %	103.33 %
	指標2 74.90 %	117.10 %	27.57 %
成果増減率	指標1 - %	+10.44 %	-26.73 %
	指標2 - %	+56.34 %	-78.05 %
活動単位コスト	指標1 205 千円	185 千円	346 千円
	指標2 0 千円	0 千円	2 千円
成果単位コスト	指標1 975 千円	894 千円	1,277 千円
	指標2 798 千円	517 千円	2,464 千円
コスト増減率	- %	-19.02 %	+176.19 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	55	
部 局 名	市民部	所 属 名
事務事業名	00778 文化振興事業	所 属 長
		記 入 者

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン 第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	文化振興事業費	
事業の概要	「大津市文化振興計画」に基づき、湖都文化の総合的な文化振興の施策を推進するため、文化連盟などの団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援名義の承認等により、市民の文化活動を支援する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が自主的に展開している文化活動を支援するために
対象 (何又は誰を)	団体及び市民等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	文化連盟等の文化活動に対して補助金等を交付するとともに、文化の催しに対する後援名義の使用承認や賞の交付を行い
成果 (どのような状態にするのか)	自主的な文化活動の促進、充実を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	2,118	2,414	1,716	10,518	7,768	
	人件費 B	6,227	6,256	5,130	5,069	6,135	
	事業費合計 A+B	8,345	8,670	6,846	15,587	13,903	
事業費の内訳	国	0	0	0	4,437	4,437	伝統文化親子教室(文化庁)委託
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	341	601	1	1	1	雑入、湖都大津まちづくり寄附金
	一般財源	8,004	8,069	6,845	11,149	9,465	
職員数(人)		1.44	1.44	1.17	1.10	1.33	
職員数の内訳	正規	0.55	0.55	0.30	0.33	0.40	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.89	0.89	0.87	0.77	0.93	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	共催・補助事業数	事業	目標	6	6	4	4	6
				実績	6	6	4	-	-
	文化活動等に対する共催・補助事業数								
	2	後援名義使用承認及び賞交付件数	件	目標	175	175	120	120	150
実績				156	132	78	-	-	
後援名義の使用承認数(及び賞を交付した件数)									
成果指標	1	共催・補助した文化活動(催し等)への参加者数	人	目標	35,000	35,000	19,000	20,000	25,000
				実績	43,857	38,157	10,356	-	-
	補助した団体等が行っている文化活動(催し等)の参加者数								
	2	後援した文化・芸術事業への参加者数	人	目標	172,000	172,000	40,000	50,000	85,000
実績				126,767	82,293	33,552	-	-	
後援名義の使用を承認した催し等の入場者数									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	57				
部局名	市民部	所属名	市民文化会館	所属長	藤原 順二
事務事業名	00773	市民文化会館管理運営事業	記入者	木津 勝	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例 大津市文化振興ビジョン 大津市文化振興計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興	関連する個別計画		

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	市民文化会館管理運営事業費	

事業の概要
市民が安全かつ快適に文化活動ができるよう、施設の管理運営等を行っている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民に文化活動の場を提供する一方で、生涯学習の活動にも寄与する。
対象 (何又は誰を)	市民一般及び各種文化団体・サークル等
手段 (どのようなやり方で)	安全かつ快適な環境で文化活動ができるように、施設の提供を行うことで
成果 (どのような状態にするのか)	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動がより活発となる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		8,951	8,826	8,926	9,452	9,452	
人件費 B		9,191	9,716	11,888	11,888	11,888	
事業費合計 A+B		18,142	18,542	20,814	21,340	21,340	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	4,601	3,691	2,120	3,909	3,909	
	一般財源	13,541	14,851	18,694	17,431	17,431	
職員数(人)		2.72	2.78	2.87	2.87	2.87	
職員数の内訳	正規	0.45	0.51	0.60	0.60	0.60	
	嘱託	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.27	1.27	2.27	2.27	2.27	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	貸室利用件数	件数	目標	900	900	700	700	900	
				実績	806	1,057	434	-	-	
	多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数(Ｈ31から延べ件数とする)									
	2			目標						
		実績								
成果指標	1	貸室利用件数目標達成率	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	90	117	62	-	-	
	貸室利用件数(実績)÷貸室利用件数(目標)									
	2			目標						
		実績								

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	58				
部 局 名	市民部	所 属 名	長等創作展示館	所 属 長	平石 誠二
事務事業名	00771	長等創作展示館維持管理運営事業	記 入 者	西辻 崇志	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市創作展示館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市文化振興ビジョン 天津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	長等創作展示館管理運営事業費	
事業の概要	長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸作品を鑑賞及び創作する場を提供し、市民の文化向上及び発展に寄与するため、創作展示館として運営する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が主体的に文化に触れ、学び、創作する場や機会を提供し、湖都文化の発展に寄与するため。
対象 (何又は誰を)	市民等来館者
手段 (どのようなやり方で)	開館25周年記念企画展示を開催するとともに創作スペースにおける活動の場を増やす。
成果 (どのような状態にするのか)	より多くの市民に鑑賞及び創作する場や機会を提供し、心豊かで潤いのある市民生活、個性豊かで活力あふれる地域社会を創造する。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,953	3,141	3,902	3,046	3,046	
人件費 B		24,080	21,240	24,913	21,673	21,673	
事業費合計 A+B		29,033	24,381	28,815	24,719	24,719	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	3,380	2,051	1,621	1,900	1,900	
	一般財源	25,653	22,330	27,194	22,819	22,819	
職員数(人)		5.00	5.00	4.81	4.76	4.76	
職員数の内訳	正規	3.00	2.00	3.05	2.00	2.00	
	嘱託	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.00	1.00	1.76	2.76	2.76	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	特別展等開催数(展示替数)	回	目標	3	3	3	2	2
				実績	3	3	3	-	-
	常設展示室での特別展開催数、展示替え回数								
2	講座開催数 (H31～貸室使用件数に変更)	件	目標	50	150	120	120	150	
			実績	52	172	146	-	-	
	陶芸教室等、各種講座開催 平成31年度から主催講座廃止により貸室使用件数に変更								
成果指標	1	入館者数	人	目標	3,000	2,500	2,000	2,000	2,500
				実績	2,518	2,682	1,640	-	-
	常設展示への入館者数 新型コロナウイルス感染症蔓延と外出自粛等により減少								
2	講座参加者数 (H31～貸室使用者数に変更)	人	目標	2,000	2,500	2,000	2,500	2,500	
			実績	2,152	3,384	2,598	-	-	
各種講座参加者数 平成31年度から主催講座廃止により貸室使用者数に変更									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	59				
部 局 名	市民部	所 属 名	仰木太鼓会館	所 属 長	馬場 仁
事務事業名	00775 仰木太鼓会館管理運営事業	記 入 者	馬場 仁		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市仰木太鼓会館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市文化振興ビジョン ・天津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	99	その他			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	仰木太鼓会館管理運営事業費	

事業の概要
 仰木太鼓会館は、天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場の提供
対象 (何又は誰を)	市民一般
手段 (どのようなやり方で)	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習等のための場所の提供に関する事業を行う
成果 (どのような状態にするのか)	天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,504	2,104	2,206	2,126	2,197	
人件費 B		1,430	1,766	1,844	1,844	1,844	
事業費合計 A+B		3,934	3,870	4,050	3,970	4,041	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	69	73	71	50	50	
	一般財源	3,865	3,797	3,979	3,920	3,991	
職員数(人)		0.30	0.32	0.35	0.35	0.35	
職員数の内訳	正規	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	
	嘱託	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	施設利用件数	件	目標	270	270	200	200	200
				実績	206	159	132	-	-
	年間利用件数(実績)								
	2	施設利用人数	人	目標	9,500	9,500	7,000	7,000	7,500
実績				7,042	5,675	3,078	-	-	
年間利用人数(実績)									
成果指標	1	年間利用件数率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	76.2	58.8	66	-	-
	年間利用件数(実績) ÷ 年間利用件数(目標) × 100								
	2	年間利用人数率	%	目標	100	100	100	100	100
実績				74.1	59.7	43.9	-	-	
年間利用人数(実績) ÷ 年間利用人数(目標) × 100									

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	56		部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤原 順二
事務事業名	00774	伝統芸能会館管理運営事業				記 入 者	宿谷 真穂	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称		根 拠 法令等	天津市伝統芸能会館条例 第2次天津市文化振興ビジョン、第2次天津市文化振興計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします			
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり			
	視点	99	その他			
	重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称			コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期	
	一般会計	管理	評価対象事業	伝統芸能会館管理運営事業費		
事業の概要	能楽をはじめ邦楽、舞踊並びに茶道、華道その他の伝統芸能に係る創造、練習、鑑賞などを通して、芸能文化の伝承と創造、発信を図っている。					
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	伝統芸能の普及と啓発のため
対象 (何又は誰を)	利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	市民の伝統芸能活動の拠点としての施設を充実させ、能や狂言等の自主事業の開催及び市民団体への貸館事業を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	伝統芸能活動を通じての市民文化を向上させる。

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		18,999	16,652	16,723	0	0	平成19年度指定管理者制度開始
人件費 B		902	913	1,312	0	0	
事業費合計 A+B		19,901	17,565	18,035	0	0	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,901	17,565	18,035	0	0	
職員数(人)		0.11	0.11	0.16	0.00	0.00	
職員数の内訳	正規	0.11	0.11	0.16	0.00	0.00	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	能舞台利用件数	件	目標	200	200	150	0	0	
				実績	170	147	95	-	-	
	能舞台利用件数 令和3年度から事業統合									
	2	和室及び会議室利用件数	件	目標	1,900	1,900	1,700	0	0	
実績				1,611	1,419	1,345	-	-		
和室及び会議室利用件数 令和3年度から事業統合										
成果指標	1	能舞台利用率	%	目標	60	60	50	0	0	
				実績	51.3	45.8	30	-	-	
	能舞台利用件数÷利用可能日数 令和3年度から事業統合									
	2	和室及び会議室利用率	%	目標	80	80	60	0	0	
実績				81.1	70.2	70.9	-	-		
和室及び会議室利用日数÷利用可能日数 令和3年度から事業統合										

